

2018年5月8日

各位

三井住友ファイナンス&リース株式会社
株式会社三井住友フィナンシャルグループ

クラウド会計ソフトとリースに関する新たなサービスの提供について

株式会社マネーフォワード（代表取締役社長 CEO：辻 庸介、以下「MF」）と三井住友ファイナンス&リース株式会社（代表取締役社長：橘 正喜、以下「SMFL」）は、クラウド会計ソフトとインターネットを介在して提供するリースや延払サービスに関する業務協定を締結致しました。

本件は、株式会社三井住友フィナンシャルグループ（執行役社長グループ CEO：國部 毅、以下「SMFG」）が開催したイベント「ミライハッカソン(※1)」にて優秀賞を受賞した MF と SMFG がビジネス化を検討していく中で、今般 MF と SMFG 子会社の SMFL が協働することで、新たなクラウドサービスの提供を行うものです。

具体的には、MF の提供するクラウド会計ソフト（「MF クラウド会計」および「MF クラウド確定申告」、以下「MF クラウド会計・確定申告」）において、リースや延払の申込機能を付加し、従来のリースや延払申込手続き時の手間と時間を節約することで、手続きの利便性が向上します。クラウド会計ソフトにおけるリースや延払の提供は本邦で初めてのケースになります。

SMFL は、ビジネスの新たなチャネルとして、MF クラウド会計・確定申告を利用する事業者向けにリースや延払を提供することで、新たな顧客層の獲得を図ります。

SMFG は、SMBC グループの機能を API 経由で別プラットフォーム等に提供する、金融 API (※2) の有望なユースケースの 1 つとすることを図ります。

今後、MF と SMFL は、リースの申込からリースの審査、リースの契約締結まで、一連の手続きがインターネット上で完結するより利便性の高いサービスの開発を検討していきます。また、MF が保有する利用者の会計データを活用した自動審査システムを構築することで、与信判断の高度化と更にスピーディーな対応を目指します。

MF、SMFL、SMFG の 3 社は引き続き連携し、API や AI を活用したフィンテックサービスの開発に注力することで、利用者へのサービスを向上させるとともに社会へのフィンテックの普及に貢献していきます。

(※1)ミライハッカソン

「金融 API でつなぐ新しいビジネス、新しいミライ」をコンセプトに 2016 年 10 月に開催した、金融 API を活用したビジネスアイデアやサービスの開発コンテスト。

(※2) API

Application Programming Interface の略称。システムが提供する特定の機能やサービスを、他のシステムから利用できるように提供する仕組みのこと。金融 API は、金融機関の機能やサービスを提供する API を指す。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

三井住友ファイナンス&リース株式会社 企画部 広報 IR 推進室 五十嵐： 03-5219-6334
株式会社三井住友フィナンシャルグループ 広報部 加藤： 03-4333-4621